

まだ使えるプロジェクト！報告書

3月に行なった「まだ使えるプロジェクト」の報告をさせていただきます。本プロジェクトは、(株)四日市運送さんが継続的に活動されている「あすなろ応援便」に、物資提供としてのご協力をさせていただくため、企画したものです。家で使わなくなったもの、眠っている「まだ使える」ものを使いたい人へ届けましょう！という思いで、例外*を除いて、何でも受け付けました。物資をお持ちいただいた方には、可能な限り現地の方へのメッセージを書かせていただきました。また、受付には私たちMUS-netの活動支援金募金箱を設置し、温かいご支援をいただきました。

※都市ガス用のガスコンロ2台、ブラウン管テレビ1台をお持ちいただきましたが、支援物資としていただくことはできませんでした。

回収イベント実施日：2012年3月22日 13時～16時

受付ボランティア：6名 [片山, 井上, 森 (team M), 原, 小柳津, 花里]

物資のご協力をいただいた方：40名強

いただいたメッセージ：6通

MUS-net 支援金額：8,377円



写真1 イベントの様子



写真2 受付では名前・メッセージを記入していただきました。



写真3 トラックの両側に栲四日市運送さんの活動記録写真を展示

【ご協力いただいた方々（以下、敬称略）】

片山誠一（伊勢市）
中澤久子（津市）
須崎恵実（多気町相可）
中島英雄（津市）
石川文基（津市）
中川登男（松坂市）
橋爪由紀（津市）
松下美奈（津市）
今井達也（津市）
周小虎（津市）
王金栄（津市）
井上真紀（名張市）
辻井健太（津市）
神垣由希（津市）
伴俊和（津市）
菊山美伸（伊賀市）
高田直美（伊賀市）
濱地雄一郎（伊勢市）
野澤拓矢（津市）
原菜那（津市）
倉井尚久（松坂市）

ご記名いただいた方 計 36 名

たくさんのご協力をいただき、本当にありがとうございました。

本イベントの後、(株)四日市運送さんの鈴鹿物流センターにて、いただいた物資の仕分け作業が行われました。(株)四日市運送さんには各地から支援物資が届いており、それらも含め、用途ごとに仕分けていきました。

仕分け作業実施日：2012年4月14日

参加人数：3名（MUS-net）+6名



写真5 集まった物資の山



写真6 段ボール箱へ仕分けて行きます。



写真7 ひとやすみ

次に、(株)四日市運送さんが行う現地へのお届けに同行させていただきました。

日時：2012年4月20日夜発～4月23日到着

この時は、依頼のあった特定のお家への物資のお届けが中心でした。

訪問場所：岩手県山田町、大槌町（おらが食堂）、陸前高田市（仮設住宅、アパレルショップ、木工場）、大船渡市（学童保育所）、宮城県亘理町



写真8 大槌町のおらが食堂（おらが丼が人気で、完売でした。）



写真9 四日市運送の樋口社長を始め、あすなろ応援便のメンバーの方々は、すでに有名人です。



写真10 子供たちはおもちゃに釘づけ（学童保育所）



写真 1 1 配布会の様子（亶理町）



写真 1 2 瓦礫処理場

日時：2012年4月27日夜発～4月30日到着

ボランティアの方が多く参加し、配布会中心でした。

参加者：2名（MUS-net）+11名

訪問場所：陸前高田市（二日市第二仮設団地，牧田団地，市民会館），釜石市佐須地区，尾崎白浜



写真14 配布会の様子



写真15 配布会の様子



写真16 船の出航式のようなお祭りに参加させていただきました.



写真17 お餅が飛んできます。

配布会では、トイレトペーパー、ティッシュ、おむつなど消耗品がすぐなくなりました。セットになったタオルも好評でした。しかし、衣類・食器については再び持って帰ってきたものも多く、必要とされているものと、提供できるものとのマッチングの難しさを感じました。

まだ使えるプロジェクト！第二回は、5月26日に行います。時間は前回と同様に、13時～16時。たくさんのご協力をよろしくお願いいたします。